



佐倉市は 子育てしやすいまちですか？

総務省の推計によると、15歳未満の子どもの数は42年連続の減少となり、昨年より30万人減っています。また、総人口に占める子どもの割合も11・5%と49年連続で低下しています。しかし、子育て支援策によって、自治体間の格差が顕著になっています。

佐倉市の現状は

県内で15歳未満の子どもの総人口に占める割合が高い市と比較すると、佐倉市は明らかに少ないです(図参照)。

西田市政の4年間で、子どもの数が約2100人減っています。これは子育て支援策が不十分であることが原因と考えられます。魅力的な子育て施策を進めている自治体は、「このまちで子育てがしたい!」と子育て世帯に選ばれ、子どもが増えています。

学童保育所の過密

保育園を整備したことにより、待機児童はほぼ解消しました。し



市立佐倉幼稚園の110周年記念にて



→市立佐倉幼稚園の園児募集ポスター

市立佐倉幼稚園を巡る市の迷走

今年3月、園児減少を理由に2023年度での佐倉幼稚園の閉園が保護者に知らされ、5月に教

15歳未満人口の総人口に占める割合
(2023年4月1日)

印西市	16.7%
流山市	16.4%
袖ヶ浦市	13.8%
四街道市	13.4%
白井市	12.7%
木更津市	12.6%
八千代市	12.4%
習志野市	12.4%
成田市	12.1%
佐倉市	10.4%

育委員会が閉園方針案を出しました。驚いた保護者たちは記者会見を開き、閉園撤回を求め要望書の提出や署名集め等に奔走。市民ネットワークも6月議会でも質問しました。

市は反対の声を無視し、閉園する条例案を8月議会に提出。常任委員会の審議では賛否が拮抗。紆余曲折の末、市議会最終日に佐倉幼稚園を残す対案が可決されました。

佐倉幼稚園は支援の必要な子どもを受け入れ、寄り添った保育を行ってきました。本来はそれが公立幼稚園の役割です。私立幼稚園と連携し、障がいのある子どもない子ども共に育つインクルーシブ保育をはじめ、幼稚園教育全体の質的向上に努めるべきです。今回は市民が積極的に動いたことにより、閉園方針を撤回することができました。しかし、市民の声を聞かない、今の西田市政のやり方では子育て世帯は増えません。

学校の先生が足りない

佐倉市でも、学校の先生不足の問題は深刻です。1年生の担任が入学式の翌日からいなくなり、何度も変わる、教頭先生が担任の代わりをする事態も起きています。

また、「ことばの教室」は、言語やきこえに不安がある子どもたちのための教室です。希望者は年々増えていますが、先生が足りないために教室が縮小され、待機児童も出ています。

船橋市のように市独自の予算で先生を増やしたり、スクールサポートスタッフを増やして先生の負担を減らすなど、子どもたちにしわ寄せがいかないように、教育に予算をしっかりとつけるべきです。

保護者の負担を減らす施策を

明石市は、市独自の子育て支援の5つの無料化 ①子ども医療費の無料化 ②第2子以降の保育料の完全無料化 ③0歳児に毎月おむつや子育て用品を自宅にお届け ④中学校の給食費が無償 ⑤公共施設の入場料無料化を実現しています。他にも多くの子育て施策が



市議
松島こずえ

あります。子育て世帯の経済的負担を軽減することで子どもの数が増え、市全体の人口増加につながっています。

佐倉市で実現しているのは①のみです。文科省の調査結果によると、子ども一人当たりの給食費を含めた学校教育費の保護者負担は、公立小学校で年間約10万円、公立中学校で年間約17万円かかります。現在第3子以降のみ対象である給食費無償化を全ての子どもに広げ、また、子どもたちの健康のためにオーガニック給食を実現すべきです。

さらに、現在3歳以上が対象の保育料の0〜2歳無償化も急ぐ必要があります。もっと教育費に予算を使い、未来を担う子どもたちのために、投資すべきです。

.....
←7月14日〜20日、韓国にオーガニック給食と福祉政策の視察に行きました。先進的な事例を、視察報告書にまとめました。ご希望の方にお分けしています(1冊200円)。ネットまでご連絡ください。



保険料等が次々値上げされる！



後期高齢者医療保険の窓口負担が所得によって2倍に引き上げられたばかりですが、国民健康保険税、介護保険料の値上げが続いていきます。

市議 五十嵐ともみ

広域化で身動き取れない

2018年度から、国民健康保険制度の広域化が始まり、運営が市町村から県に代わりました。市町村は財政運営から外され、県が決定した納付金を全額支払わなければなりません。納付金の支払いが市町村にとって重い負担となり、佐倉市では納付金を支払うため、一般会計から毎年繰り入れを行ってきました。しかし、繰り入れが急拡大し、納付金を納めるため国保税を値上げせざるを得ない事態に追い込まれています。

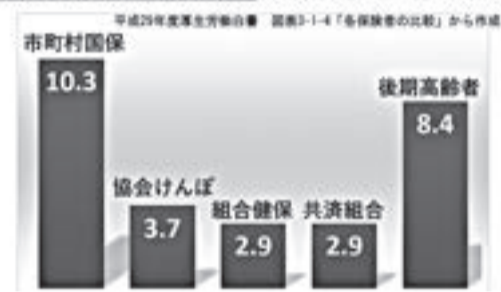
国保税が値上げに

そのような中、9月の佐倉市の国保運営協議会に、来年度からの保険税値上げが提案されました。公募委員からは「負担している市民として言いたい。企業が半分負担する組合健保と違い、国保は市民の負担が重い制度だ」という発言がありました。段階的に保険税の引き上げを決定。国保の加入者は、所得300万円未満が80%であり、家計に大きな打撃となってしまう。

介護保険料はどうなる？

現在、2024年度改定の介護保険計画で、来年度からの介護保険料について検討されています。3年前の改定で

事業主負担分を除く保険料負担率 (%)



加入者一人当たり平均所得 (万円)



出典：第65回人権擁護大会シンポジウム第1分科会
人権としての「医療へのアクセス」の保障
―新自由主義的医療改革から住民のいのちと医療の現場が大切にされる医療保障改革へ―

は、コロナ禍と物価高という状況にもかかわらず、基準月額を450円値上げし、4950円に引き上げました。一方、貯金である介護基金は毎年増え続け、2022年度では約26億3千万円にもなります。前回の保険料値上げが基金の積み増しにつながっているのではないのでしょうか。来年度改定では、この基金を保険料の値上げ抑制のために使うべきと、8月議会で訴えました。

◇◇◇

市民の権利が奪われる

8月議会で、突然、議会運営委員長から「陳情の取り扱いの見直し案」が出されました。従来の陳情は、議会に対し市民から意見や提案をすることができるとして、市長提出の議案と同じように常任委員会で審議し、採決します。ところが見直し案では、最も身近な市政に関する陳情は、審議など一切行わず、議員への陳情書配布にとどめるというものです。今議会では、公立幼稚園の閉園をしないほしいという切実な陳情が、入園を希望する保護者から出され、議会で協議しました。しかし、見直し案が通ってしまうと、このような陳情が、議員への配布のみとなってしまいます。市民の権利である陳情を制限する提案には、強く反対します。

ふるさと納税に一言

市議 松島こずえ

佐倉市の状況は
ふるさとまちづくり応援寄附推進事業（いわゆるふるさと納税）は、佐倉市への寄附額より市民が他自治体へ寄附を行っている額の方が毎年大きく、昨年度は佐倉市に入るはずだった市税の約4億円が他自治体へ流出しています。市税流出以外に、返礼品に約1700万円、掲載するポータルサイトの手数料に約430万円の経費がかかっています。

過熱する返礼品合戦
毎年、寄附総額上位の自治体は固定化されており、一部の自治体に寄附が偏ることで自治体間格差が生まれています。要因として挙げられるのが、自治体から送られてくる返礼品にあります。不毛な返礼品合戦に終始するのではなく、市税は教育や福祉・市民サービス等の財源であること、佐倉市の市税収入が減少すれば市民サービス等にも大きく影響することを分かりやすく市民に知らせるべきです。



予科練平和記念館を訪ねて
戦争末期、魚雷を改造した特攻兵器「回天」が造られ、若者たちが搭乗させられました。一度発進してしまうと死ぬほかなく、また訓練中での事故死も起きました。

佐倉市は、子どもたちの平和教育の一環として、予科練平和記念館の見学を計画しています。どのような展示なのか、11月1日、訪れました。
第1次世界大戦後、航空機需要が世界的に高まり、欧米列強に後れを取らまいと考えた旧海軍が、14歳から17歳までの少年たちに飛行訓練させるための施設を昭和5年、茨城県阿見町につくった。それが予科練である。
全国から優秀な人材を志願させ、それを選抜し、早くから基礎訓練を行うことにより、熟練の搭乗員を養成した。その結果約24000人の予科練出身者が戦地に赴き、その8割が戦死した。予科練志願者の憧れである七つボタンは世界の七大洋を表している。七つの海を越えて大空を自由に駆け巡る夢を抱いた若者たちは、厳しい訓練に耐えた後に、特攻という後戻りできない死出の旅路に送り出された。
二十歳そこそこで爆弾を背負って敵艦に体当たりしてわが身を果てさせる。この国が若者に課した使命は余りにむづかしい。
そして令和5年の今、世の中が非常に臭い。国は敵基地攻撃とかミサイル迎撃とか威勢のいい言葉を並べているが、いつか来た道という言葉が頭をよぎる。若者を再び戦場に送り出してはならない。
(中田八千代)

新たな公害＝香害問題

体調不良、もしかして その「香り」が原因では？



市議
伊藤とし子



柔軟剤、合成洗剤、消臭剤、芳香剤などで健康被害が出ています。特に香りや抗菌・消臭作用を長持ちさせるマイクロカプセルなどが製品に使われるようになってから、被害が拡大、深刻化しています。

マイクロカプセル問題

プラスチックでできた数μm(1000分の1mm)の微小なカプセルの中に、香料や抗菌・消臭成分が包まれているのが、マイクロカプセルです。「キャップ1杯に1億個」入っており、繊維に付着し摩擦や熱でカプセルが次々壊れ、香りや消臭作用が持続する仕組みです。

このプラスチック素材には有害化学物質であるホルムアルデヒドやイソシアネートなどが含まれています。中身の香料は石油製品であり、抗菌・消臭成分はヒトの細胞にダメージを与える毒性の強い化学物質です。呼吸で肺胞にまで達し、血流に乗って全身に運ばれます。肺疾患を引き起こす可能性が危惧されています。

教室などでは、一人ひとりが衣服に付けてくる香料などの化学物質で、充満しています。そのため体調不良になったり、登校できない事態も出ています。持ち回りで洗濯する給食の白衣にも、柔軟剤などが付着しているため、持ち帰れば化学物質過敏症の家族の具合が悪くなったりします。そのため、希望者には予備の白衣で個別対応することを、議会質問で確認しました。遠慮なく申し出てくだ

子どもたちへの影響は

現実には、貝類から柔軟剤から検出された成分とマイクロプラスチックが検出され、汚染が進んでいることが分かります。

無香料でも被害が

無香料の抗菌・消臭剤、除菌剤であってもマイクロカプセルが使われているため、広範囲で拡散し、付着力も強くて、同様の被害を引き起こしています。

実際、道を挟んだ隣家が殺菌・消臭剤を使うようになって、化学物質過敏症が酷くなり、家に住めなくなつたという深刻な相談が寄せられています。

EUも使用禁止に

EUは2023年9月26日付で「意図的に添加されたマイクロプラスチックを制限する措置」を採択し、「洗剤や柔軟剤」への使用を禁止しました。日本でも被害をくい止めるため、メーカーに対し行政指導するよう、声を上げていきましょう。

現在メーカーに対し、署名活動を行っています。ご協力ください。



↑ STOP!
マイクロカプセル香害
署名はこちらから

マイナ保険証はいりません

コンビニ交付の誤発行、公金受取口座の誤登録、マイナ保険証の別人にひも付けなど、トラブル続きのマイナンバー制度。しかし、国は従来の保険証を廃止し、マイナ保険証が資格確認証にしようとしています。

国はマイナ保険証のメリットとして「救急時に受診や服薬の情報が分かり、迅速に的確な治療が受けられる」とPR。ところが、院内処方が入ってないばかりか、レセプトが反映される1カ月半以前の情報しか入っていません。マイナ保険

証よりもお薬手帳を見たほうが早い、鶴呑みにしたら危険、というのが医療現場の声です。患者側も、マイナ保険証を持っていても実際に利用しているのは5%ぐらいです。

また、すべての病歴やかった医療機関まで、患者の情報が第三者にあからさまになるのは、デメリットとしか考えられません。来年秋には介護保険証との一体化も計画されています。自分の情報は自分で守る「書かない番号、持たないカード」が一番です。

さくら・市民ネットワークは毎年9月、佐倉市に「予算要望・政策提案書」を提出



平和・人権、子ども、教育、福祉、災害対応、まちづくり等、多岐にわたり市民の皆さまからのご意見・提案を反映させました。(9/28)

詳細はこちらから→
ご覧ください。



カンパのお願い

市民ネットは「反貧困ささえあい千葉」を通じて、困窮者支援を行っています。コロナの影響で仕事も住まいも失う人が、今も増え続けています。そこで、食料品やカンパのご協力をお願いいたします。

連絡先：さくら・市民ネットワーク TEL 043-462-0618

動物保護、心に寄り添う

金田由希 (アニマルソーシャルワーカー)

「ひとと動物の暮らしを考える会ちば」で、飼い主が生活困窮した場合の動物保護活動に取り組んでいる。



捨て猫との出会いがきっかけで始めた保護活動。最初は行き場のない動物の保護と新たな飼い主探しだけをしていました。でも、その活動には終わりが見えず、私自身も保護頭数が多くなり、経済的にも精神的にも継続が厳しいと感じるようになりました。次に、解決のためには飼い主への適正飼育、避妊手術の啓発が必要では？と考え、飼い主側に注目するようになりました。しかし結局、啓発だけで解決するものではないことがわかりました。

飼育放棄や不適切飼育の背景には、

飼い主の失業や病気、DVや離婚等による生活困窮、孤立による動物への依存等があることがわかったのです。それは人の福祉の問題。必要なのは、飼い主が抱えている課題を整理し、動物と一緒に暮らせる支援。そのためには人の福祉制度と連携することが必要だと考え始めました。

飼い主から動物を引き離すだけを解決とせず、人も動物も一緒に支援する、今はそうした視点を持つ人を地域に増やしていくことを目的に活動しています。



県議 川口えみ

9月県議会報告

いのちと暮らしと食を守るために

金属スクラップヤード条例が できました

現在、全国に約800ヶ所ある金属スクラップヤードのうち、千葉県には332ヶ所、佐倉市には十数ヶ所あります。千葉県のヤードでこれまで、火災は27件、崩落のおそれは73件、水質汚濁のおそれは23件ありました。

◆金属スクラップを積み高さの制限

◆県による立ち入り検査などが新たに条例で定められました。

9月議会で、「千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」いわゆる金属スクラップヤード条例が可決され、来年4月から施行されます。

◆事前に許可を受ける

◆事前に周辺地域の住民に対し、説明会の開催その他の事業の内容を知らせるため必要な措置を講ずる

より安心できる交番対応を

交番を訪れた際、警察官ではなく、交番相談員が対応する場合があります。

先日、佐倉市内の公園で小学生がBB弾で撃たれたり、ヤングプラザで携帯電話を盗まれるなどの事件が起きました。

BB弾の事件では、すぐに保護者が交番に行ったところ、「では相談でよろしいですね」と言われました。すぐに捜査に入るのかと思いましたが、後で確認したところ、対応したのは交番相談員で、相談員には捜査の権限がないとわかりました。被



10月18日、JR酒々井駅で県政リポートをお配りしました。駅文庫の活況や活発な町民活動の掲示にいつも励まされます。

害届も警察官しか作れません。交番には相談員がいると知らない市民も多くいます。事件が起きた場合、相談員が責任を持つて警察官に引き継ぐよう、警察常任委員会で要望しました。

子どもの貧困対策を急げ

日本の子どもの貧困率は11.5%、ひとり親家庭の貧困率は44.5%と、先進国の中でも最悪な水準と言われています。貧困に追い詰められた親が、虐待や育児放棄に至るケースも多くなっています。

貧困や虐待で、子どもたちは心や体を傷つけられ、余裕を失い、勉強への意欲を失うケースが多くみられます。それは進学を諦めるなど、就職の難しさにつながり、ひいては貧困の連鎖という結果を生みます。

義務教育費は無償？

憲法26条2項で「義務教育は、これを無償とする」と定められています。授業者負担は無償であるものの、保護者負担となる学校教育費は年々増加しています。文科省

早急な対策を求めたい

子どもの貧困を解決するためには、まず、保護者の経済状況を改善することが求められます。

最低賃金の引上げ、困窮世帯やひとり親世帯への就労支援、児童扶養手当の増額と所得制限の緩和など、政府に対し、「具体的に実質的な子どもの貧困対策の早急な実施を求める意見書」を提出しました。

議員30人の賛成を得ましたが、自民・公明などの反対により、否決されました。

熊谷知事との懇談会

10月17日、市民ネットワーク千葉県と熊谷知事との懇談会を行いました。

事前に提出した質問項目は次の通り

- 1 「(仮称)千葉県多様性が尊重される社会の形成の推進に関する条例」案について
- 2 少数会派への平等な対応について
- 3 自衛隊基地のPFASについて
- 4 新湾岸道路について
- 5 第8次千葉県保健医療計画について
- 6 夜間中学の協議会設置について
- 7 中学校の部活動について
- 8 有機農業の推進と学校給食について
- 9 介護現場の改善について
- 10 地域活動支援センターについて
- 11 大型物流倉庫建設ラッシュに係る国道・県道の課題について
- 12 県所有の未利用地・県有施設について

知事はすべての質問に答え、その後の質疑・新たな質問に明快に応じました。

多様な条例骨子案については、男女共同参画条例を個別に制定してほしいとの声が多く出されました。

是々非々で政策提案をしていく市民ネットワーク千葉県として、引き続き熊谷県政を注視し、私たち一人ひとりが県政に参画していきたいです。



議会予定

- 千葉県議会 12月定例議会(予定)
 - 11/22(水) 開会 ~ 12/19(火) 閉会
 - 11/29(水) ~ 12/1(金)、4(月) ~ 7(木) 一般質問
(川口えみが質問します。質問日などはお問い合わせください)
 - 12/11(月) ~ 14(木) 常任委員会
- 佐倉市議会 11月定例議会(予定)
 - 11/20(月) 開会 ~ 12/19(火) 閉会
 - 11/27(月) ~ 30(木) 一般質問
 - 12/1(金)・15(金) 総合計画特別委員会
 - 12/4(月) ~ 7(木) 総合計画特別委員会分科会
 - 12/11(月) ~ 14(木) 常任委員会

傍聴に
おいください。
インターネット
でも視聴可能

さくらネットギャラリー

【希翔パイログラフィー作品展】

1月15日(月) ~ 2月15日(木)
高温の電気ゴテで木材に絵を描く「焼き絵」アート。
独特の風合いが、木と調和して自然の温もりを感じます。
作者：佐藤紀夫(画号：希翔)
どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

